



研修医ニュース

研修管理委員会発行

vol.67

2018.12.06

第17回 青年医師交流集会 in 朝倉



11月10日(土)～11月11日(日)に、九冲青年医師交流集会が朝倉で開催されました。今年度は福岡が主催担当ということで、大手町病院・米の山病院・千鳥橋病院3法人で実行委員会を立ち上げ、「慢性期医療と急性期医療の橋渡し」というテーマで準備してきました。当院からは嘉藤先生、川本先生が実行委員として参加し、青年医師が主体となって、企画を作り上げました。

当日は、慢性期と急性期各フィールドからの講師を招いたシンポジウムや、認知症についての記念講演、入職年別の懇談などの企画を設け、「①学習や講演を通して医師としてのスキルアップを図る②九冲地協内の青年医師の親睦と交流を図る」という目標を達成する事が出来ました。



シンポジスト

- ・ 大手町リハビリテーション病院 院長 増田裕幸先生
- ・ 千鳥橋病院 病棟医長 稲石佳子先生
- ・ みさき病院 院長 田中清貴先生
- ・ 神野診療所 所長 香月彰夫先生

須恵診療所の経験を語ってくださった稲石先生



毎年恒例
ご当地お絵描き伝言クイズで
大盛り上げの懇親会



息ぴったりな司会でした
川本先生と嘉藤先生



コーディネーターの
角銅先生



入職年別懇談の様子

～感想抜粋～

- ・ 急性期しかまだ経験していないので、慢性期について知ることが出来た
- ・ 初期の内に慢性期を学びたいと思った
- ・ 診療所の取り組みが参考になった
- ・ 認知症のイメージが変わった
- ・ 妄想は事実から生まれるということが興味深かった
- ・ 他院の同期と久しぶりに会い、悩みを共有して安心した
- ・ 同期が頑張っている話を聞き、刺激になった
- ・ 他県のいろんな年代の医師とつながりができた
- ・ 病院から離れ、リフレッシュできた



九州北部豪雨で被災した
養蜂場で復興の講話も聞きました